

平成30年度家庭科シラバス  
 科目の概要      科目名      (家庭総合)      3年

教科書	家庭総合 (第一学習社)																																				
<p>1. 科目の概要</p> <p>家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、人の一生と家族・家庭、子どもの発達と保育・福祉、高齢者の生活と福祉、生活の科学と文化消費生活と資源・環境などに関する知識と技術を習得できるよう実験・実習を交えながら体験的学習を多く含んでいる。</p>																																					
<p>2. 主な学習内容</p> <p>▲衣生活を作る</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 被服の役割を考える</td> <td style="width: 50%;">2 被服を入手する</td> </tr> <tr> <td>3 被服を管理する</td> <td>4 被服を作る (エプロン製作)</td> </tr> <tr> <td>5 衣生活の文化と知恵</td> <td>6 これからの衣生活</td> </tr> </table> <p>▲自分らしい人生をつくる</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 生涯発達の視点</td> <td style="width: 50%;">2 青年期の課題</td> </tr> <tr> <td>3 家族・家庭を見つめる</td> <td>4 これからの家庭生活と社会</td> </tr> </table> <p>▲子どもと共に育つ</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 子どもの育つ力を知る</td> <td style="width: 50%;">2 親として共に育つ</td> </tr> <tr> <td>3 子どもとの触れあいから学ぶ</td> <td>4 これからの保育環境</td> </tr> </table> <p>▲食生活をつくる</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 食生活について考える</td> <td style="width: 50%;">2 食事と栄養・食品</td> </tr> <tr> <td>3 食生活の安全と衛生</td> <td>4 生涯の食生活を見通した食事計画</td> </tr> <tr> <td>5 これからの食生活</td> <td></td> </tr> </table> <p>▲高齢社会を生きる</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 高齢期を理解する</td> <td style="width: 50%;">2 高齢期の心身の特徴</td> </tr> <tr> <td>3 高齢者をささえる</td> <td>4 これからの高齢社会</td> </tr> </table> <p>▲住生活をつくる</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 住生活について考える</td> <td style="width: 50%;">2 住生活の計画と選択</td> </tr> <tr> <td>3 これからの住生活</td> <td></td> </tr> </table> <p>▲経済生活を営む</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 職業生活を設計する</td> <td style="width: 50%;">2 計画的に使う</td> </tr> <tr> <td>3 消費行動と意志決定</td> <td>4 現代の消費社会</td> </tr> <tr> <td>5 これからの消費生活と環境</td> <td></td> </tr> </table> <p>▲生活設計</p>				1 被服の役割を考える	2 被服を入手する	3 被服を管理する	4 被服を作る (エプロン製作)	5 衣生活の文化と知恵	6 これからの衣生活	1 生涯発達の視点	2 青年期の課題	3 家族・家庭を見つめる	4 これからの家庭生活と社会	1 子どもの育つ力を知る	2 親として共に育つ	3 子どもとの触れあいから学ぶ	4 これからの保育環境	1 食生活について考える	2 食事と栄養・食品	3 食生活の安全と衛生	4 生涯の食生活を見通した食事計画	5 これからの食生活		1 高齢期を理解する	2 高齢期の心身の特徴	3 高齢者をささえる	4 これからの高齢社会	1 住生活について考える	2 住生活の計画と選択	3 これからの住生活		1 職業生活を設計する	2 計画的に使う	3 消費行動と意志決定	4 現代の消費社会	5 これからの消費生活と環境	
1 被服の役割を考える	2 被服を入手する																																				
3 被服を管理する	4 被服を作る (エプロン製作)																																				
5 衣生活の文化と知恵	6 これからの衣生活																																				
1 生涯発達の視点	2 青年期の課題																																				
3 家族・家庭を見つめる	4 これからの家庭生活と社会																																				
1 子どもの育つ力を知る	2 親として共に育つ																																				
3 子どもとの触れあいから学ぶ	4 これからの保育環境																																				
1 食生活について考える	2 食事と栄養・食品																																				
3 食生活の安全と衛生	4 生涯の食生活を見通した食事計画																																				
5 これからの食生活																																					
1 高齢期を理解する	2 高齢期の心身の特徴																																				
3 高齢者をささえる	4 これからの高齢社会																																				
1 住生活について考える	2 住生活の計画と選択																																				
3 これからの住生活																																					
1 職業生活を設計する	2 計画的に使う																																				
3 消費行動と意志決定	4 現代の消費社会																																				
5 これからの消費生活と環境																																					
<p>3. 評価の方法</p> <p>成績の評価は、①定期考査 ②提出物・レポート・発表 ③出席状況④学習態度 (実験・実習、教室での学習態度・発問への主体的姿勢) 等を資料とし、総合的に判断し評価する。</p> <p>1, 2学期は100点満点で評価し3学期には5段階評価とする。</p>																																					

「家庭総合」	単位数	4単位
	学科・学年	普通科 3年

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	<p>1. 人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、子ども、高齢者、そして、社会とのかかわりについて理解する。</p> <p>2. 生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。</p>
使用教科書	第一学習社「家庭総合」

2. 学習計画 年間4単位(140時間)

評価の観点のポイント a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:技能 d:知識・理解

学期	月	学習内容	時数	学習のねらい	留意点	a	b	c	d		
一 学 期	4	・「家庭基礎」の学び方 ・ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ	1	・1年間の学習内容や学習方法,教科の特徴と課題について理解させる。 ・授業で習得した知識や技術を日常生活に生かすことの大切さを理解させる		○			○		
			1			○		○			
	衣 生 活 を 作 る	5 12	1 被服製作 エプロン製作	12	・各自にあったサイズのエプロンを製作する。	基礎縫い (エプロン製作)	○	○	○		
			2 人はなぜ衣服を着るのか ①人と衣服のかかわり ②地球的規模での衣生活	2	・自然環境の中で衣服の機能を理解し、社会生活上の衣服の機能を学ぶ ・現代の国際化する衣生活の現状を知る	DVD 「被服材料の性質」	○	○		○	
			3 衣服は何からできているのか ①衣服素材の種類 ②繊維の種類と特徴 ③衣服素材の性能	2	・日常着ている衣服の素材にはどのようなものがあるかを学ぶ。 ・布を構成する糸、繊維がわかり、繊維の種類と特徴が理解できる。		○	○		○	
			4 健康的で快適な衣生活を作る ①衣生活をつくる ②衣服の手入れ ③衣生活と資源・環境	4	・衣服素材の性能を理解する。 ・入手から処分までの衣生活の流れがわかり、豊かな衣生活とは何かを考えるきっかけを学ぶ。 ・豊富に出回る既制服の中から適切な選択・購入ができるように、入手のポイント、表示の種類・意味を理解する。	学習プリント	○	○		○	
							○	○		○	
								○	○		○
								○	○		○
								○	○		○

一 学 期	6	食生活を作る 14	1 私たちの食生活を見つめる ①高校生の食生活 ②21世紀の食事	2	・高校生の食生活の現状を理解する。 ・望ましくない食生活によって起きる病気などについて知る。	学習プリント 食品成分表	○	○	○
			2 栄養と食品のかかわり ①食品の栄養素とからだの成分 ②炭水化物とその食品 ③脂質とその食品 ④たんぱく質とその食品 ⑤無機質とその食品 ⑥ビタミンとその食品 ⑦その他の食品	16	・食品の栄養と体の成分との関わりに関心を持つ。 ・炭水化物の種類と役割を理解し、多く含む食品について知る。 ・脂質、たんぱく質の種類と役割について理解し、多く含む食品について知る。 ・無機質の種類と役割について理解し、多く含む食品について知る。 ・ビタミンの種類と役割を理解し、多く含む食品について知る。	プリント(まとめ)	○	○	○
			3 食品の選び方と安全 ①食品の表示と保存 ②食品の衛生と安全	2	・食品の表示について理解し、適切に食品を選択することができる。 ・食品を安全に選択・調理するために、食中毒や食品添加物への理解を深める。	VTR 「テーブルマナー」 調理実習(5回)	○	○	○
			4 食生活をデザインする ①食事摂取基準と食品摂取量のめやす ②家族の食事を計画してみよう ③調理から後かたづけまで	4	・食事摂取基準の目的と内容を理解する。 ・食品群別摂取量のめやすの内容と食事摂取基準との関係を理解する。 ・調理器具の扱い方、切り方を学び、調理の流れと手順を知り、調理実習につなげる。	VTR 「栄養素について」	○	○	○
			5 これからの食生活を考える ①一人ひとりが支える日本の食生活 ②台所から考える環境	2	・日本の食糧事情の実態と問題点を理解し、食料自給について考える。 ・食生活を通して、環境と共存するライフスタイルを身につける。		○	○	○
			・ホームプロジェクトの計画及び実践	2		ホームプロジェクト			
	9	子どもとかか	1 子どもを知る ①未熟なだけではない子ども ②子どもとかかわる	4	・幼児期の生活習慣について理解する。 ・子どもの生活における遊びの重要性を理解する。	VTR 「乳幼児の保育」	○	○	○
			2 発達のすばらしさ ①人の発達と保育 ②からだの発達 ③心の発達	4	・乳幼児期の人間形成の大切さについて、親の与える影響を理解することができるとともに、将来子どもを育てようという意欲を育てる。	DVD 「子どもの成長」	○	○	○
			3 子どもの生活	4	・子育て支援として行われているさ		○	○	○



	か か わ る  6	2歳を重ねるということ ①高齢者の心身の変化 ②高齢者の暮らし	4	・高齢者の心身の変化や特徴について理解を深める。 ・高齢者の家族とのかかわりや、社会参加について現状を通して自立的に生活すること等、高齢者の暮らしにかかわる継続的な課題について考える。	インスタ トニ体験 日常生活 の介助 学習ノート (まとめ)	○	○					
三 学 期	1	3豊かな高齢期を迎えるしくみ ①地域に根ざした福祉システム ②介護予防も自立支援も	4	・介護予防など、改正された介護サービスの内容やねらいについて理解する。		○				○		
	2	自分らし い生 き方 と家 族	1自分を見つめる ①自分の適正について考える ②ライフステージと発達課題 ③これからの社会を生きる	2	・さまざまな視点より、自分を見つめ、自分の適正＝長所に気づく。 ・ライフステージと発達課題を確認する。 ・将来と現在のつながりを認識し、現在の自分の目標を明確にする。	人生設計	○	○			○	
						VTR	○	○			○	
	6	2パートナ ーと出 会 う ①変 わ る 結 婚 ②パ ー ト ナ ー と の 出 会 い	2	・結婚の形態は、時代や社会とともに多様に変化してきたことを知る。 ・パートナーとのよりよい関係作りを考える。	VTR (家族)	○	○				○	
					プリント (まとめ)	○	○			○		
					3家族 って何 だろ う ①家 族・ 家 庭 と は ②時 代と と も に 変 わ る 家 族・ 家 庭 ③こ ん に ち の 家 族 が 抱 え る 問 題	2	・家族とは、自分にとってどのようなか客観的に考える。 ・多様な暮らしがあり、家族があることを考える。	○	○			○
								○	○			○
	4	4家族 と法 律 ①家 族 法 の 理 念 と は ②現 代 の 家 族 と 法 律 ③民 法 改 正 へ の 動 き	2	・時代によって家族・家庭に関する法律が変化してきたことを理解する。 ・民法改正への動きを知り、これからの家族・家庭、男女のあり方について考える ・今後の社会において、男女ともに仕事も家庭も担っていくため、どうすればよいのか考える。	新聞つくり 発表	○	○			○		
					プリント (まとめ)	○	○	○	○			
	3	1生活 設 計  ①こ れ か ら の 人 生 ②生 活 設 計 の 内 容 と 方 法	4	4	・青年期の課題の確認と自己の生活の振り返り ・生活設計の立案		○	○			○	

平成30年度家庭科シラバス  
科目の概要 科目名(フードデザイン)3年

教科書	フードデザイン(教育図書)
<p>1. 科目の概要</p> <p>この科目は、1・2年生で学習してきた家庭科の食物分野の基礎的内容を基に更に知識・技能を高める教科であり、これまで1・2年では十分深められなかった内容を実験・実習によって体験的に学ぶことのできる内容である。また、進路選択で食物関係に興味・関心を持っている生徒も多く、3年で選択科目として置くことにした。</p>	
<p>2. 主な学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▲食生活の充実・向上<ul style="list-style-type: none"><li>1 食生活の変化と現状</li><li>2 よりよい食生活を創造するために</li></ul></li><li>▲健康・栄養・食物・自分らしく生きる<ul style="list-style-type: none"><li>1 なぜ食物が必要なのか</li><li>2 健康に必要な栄養素</li><li>3 食品の成分と変化</li><li>4 食品の加工</li></ul></li><li>▲献立と調理<ul style="list-style-type: none"><li>1 調理の基本</li><li>2 献立作成</li><li>3 様式別の献立と調理・食卓作法・</li><li>4 テーブルコーディネート</li></ul></li><li>▲調理実習<ul style="list-style-type: none"><li>・ 日常食・和風献立・和風料理</li><li>・ 日常食・洋風献立・洋風料理</li><li>・ 日常食・中国献立・中国料理</li><li>・ 日常食・その他(行事食)</li></ul></li></ul>	
<p>3. 評価の方法</p> <p>成績の評価は、①定期考査 ②提出物・レポート・発表 ③出席状況 ④学習態度 ⑤各種検定、コンクールへの取り組み状況等から、総合的に判断し評価する。</p> <p>1、2学期は100点満点で評価し、3学期には5段階評価とする。</p>	
<p>4. 備考</p>	

「 フードデザイン 」	単 位 数	2 単 位
	学科・学年	普 通 科 3 年

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	栄養・食品・献立・テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食事を総合的にデザインする能力と態度を育てる。
使用教科書	教育図書「フードデザイン」

2. 学習計画 年間2単位（70時間）

評価の観点のポイント a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:技能 d:知識・理解

学 期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	留意点	a	b	c	d	
第 一 学 期	4	・フードデザインの学び方	1	1年間の学習内容や学習方法 教科の特徴と課題について理解させる					○	
		1、食生活の変化と現状	3	・食生活の洋風化に伴い栄養摂取量に大きく影響を与えていることを理解させ、不足している栄養素は何かを把握させる。 ・ライフスタイルの変化に伴い外食が増加し、さらに輸入食品に頼っている現状を理解させる。 ・食品の多様化は、摂取の仕方によって弊害になることを理解させる。	DVD ポストハーベスト 調べ学習	○	○		○	
		①食品とエネルギー、栄養素の摂取量 ②食の外部化、社会化 ③輸入に頼る食生活 ④食意識の多様化 ⑤食生活と環境				DVD	○	○		○
			2、よりよい食生活を創造するために ①これからの食生活 ②食べることの意義と役割	1	・よりよい食生活が健康の維持・増進につながり、生活全般を豊かにしていくものであることを理解させる。	DVD	○			○
	5	健康・栄養・食物	1、なぜ食物が必要なのか ①食物に求められるもの ②食物はどこから来るのか ③食物の選び方	6	・食物摂取の必要性を理解させる。 ・食物を選択するにあたり安全性、情報収集の大切さを理解させる。	DVD (栄養素の働き)	○			○
			2、健康に必要な栄養素 ①炭水化物 ②脂質	6	・各栄養素の種類と栄養的意義、それらの栄養素を含む食品について理解させる。		○			○







平成30年度家庭科シラバス  
 科目の概要      科目名      (家庭基礎)      2年

教科書	家庭基礎 (第一学習社)																																				
<p>1. 科目の概要</p> <p>家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、人の一生と家族・家庭、子どもの発達と保育・福祉、高齢者の生活と福祉、生活の科学と文化消費生活と資源・環境などに関する知識と技術を習得できるよう実験・実習を交えながら体験的学習を多く含んでいる。</p>																																					
<p>2. 主な学習内容</p> <p>▲衣生活を作る</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 被服の役割を考える</td> <td style="width: 50%;">2 被服を入手する</td> </tr> <tr> <td>3 被服を管理する</td> <td>4 被服を作る (エプロン製作)</td> </tr> <tr> <td>5 衣生活の文化と知恵</td> <td>6 これからの衣生活</td> </tr> </table> <p>▲自分らしい人生をつくる</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 生涯発達の視点</td> <td style="width: 50%;">2 青年期の課題</td> </tr> <tr> <td>3 家族・家庭を見つめる</td> <td>4 これからの家庭生活と社会</td> </tr> </table> <p>▲子どもと共に育つ</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 子どもの育つ力を知る</td> <td style="width: 50%;">2 親として共に育つ</td> </tr> <tr> <td>3 子どもとの触れあいから学ぶ</td> <td>4 これからの保育環境</td> </tr> </table> <p>▲食生活をつくる</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 食生活について考える</td> <td style="width: 50%;">2 食事と栄養・食品</td> </tr> <tr> <td>3 食生活の安全と衛生</td> <td>4 生涯の食生活を見通した食事計画</td> </tr> <tr> <td>5 これからの食生活</td> <td></td> </tr> </table> <p>▲高齢社会を生きる</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 高齢期を理解する</td> <td style="width: 50%;">2 高齢期の心身の特徴</td> </tr> <tr> <td>3 高齢者をささえる</td> <td>4 これからの高齢社会</td> </tr> </table> <p>▲住生活をつくる</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 住生活について考える</td> <td style="width: 50%;">2 住生活の計画と選択</td> </tr> <tr> <td>3 これからの住生活</td> <td></td> </tr> </table> <p>▲経済生活を営む</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 職業生活を設計する</td> <td style="width: 50%;">2 計画的に使う</td> </tr> <tr> <td>3 消費行動と意志決定</td> <td>4 現代の消費社会</td> </tr> <tr> <td>5 これからの消費生活と環境</td> <td></td> </tr> </table> <p>▲生活設計</p>				1 被服の役割を考える	2 被服を入手する	3 被服を管理する	4 被服を作る (エプロン製作)	5 衣生活の文化と知恵	6 これからの衣生活	1 生涯発達の視点	2 青年期の課題	3 家族・家庭を見つめる	4 これからの家庭生活と社会	1 子どもの育つ力を知る	2 親として共に育つ	3 子どもとの触れあいから学ぶ	4 これからの保育環境	1 食生活について考える	2 食事と栄養・食品	3 食生活の安全と衛生	4 生涯の食生活を見通した食事計画	5 これからの食生活		1 高齢期を理解する	2 高齢期の心身の特徴	3 高齢者をささえる	4 これからの高齢社会	1 住生活について考える	2 住生活の計画と選択	3 これからの住生活		1 職業生活を設計する	2 計画的に使う	3 消費行動と意志決定	4 現代の消費社会	5 これからの消費生活と環境	
1 被服の役割を考える	2 被服を入手する																																				
3 被服を管理する	4 被服を作る (エプロン製作)																																				
5 衣生活の文化と知恵	6 これからの衣生活																																				
1 生涯発達の視点	2 青年期の課題																																				
3 家族・家庭を見つめる	4 これからの家庭生活と社会																																				
1 子どもの育つ力を知る	2 親として共に育つ																																				
3 子どもとの触れあいから学ぶ	4 これからの保育環境																																				
1 食生活について考える	2 食事と栄養・食品																																				
3 食生活の安全と衛生	4 生涯の食生活を見通した食事計画																																				
5 これからの食生活																																					
1 高齢期を理解する	2 高齢期の心身の特徴																																				
3 高齢者をささえる	4 これからの高齢社会																																				
1 住生活について考える	2 住生活の計画と選択																																				
3 これからの住生活																																					
1 職業生活を設計する	2 計画的に使う																																				
3 消費行動と意志決定	4 現代の消費社会																																				
5 これからの消費生活と環境																																					
<p>3. 評価の方法</p> <p>成績の評価は、①定期考査 ②提出物・レポート・発表 ③出席状況④学習態度 (実験・実習、教室での学習態度・発問への主体的姿勢) 等を資料とし、総合的に判断し評価する。</p> <p>1, 2学期は100点満点で評価し3学期には5段階評価とする。</p>																																					

「家庭基礎」	単位数	2単位	
	学科・学年	理数科	2年

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	<p>1. 人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、子ども、高齢者、そして、社会とのかかわりについて理解する。</p> <p>2. 生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。</p>
使用教科書	第一学習社「家庭基礎」

2. 学習計画 年間2単位（70時間）

評価の観点のポイント a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:技能 d:知識・理解

学期	月	学習内容	時数	学習のねらい	留意点	a	b	c	d
一学期	4	・「家庭基礎」の学び方 ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ	1	・1年間の学習内容や学習方法,教科の特徴と課題について理解させる。 ・授業で習得した知識や技術を日常生活に生かすことの大切さを理解させる		○			○
		1 被服製作 エプロン製作	6	・各自にあったサイズのエプロンを製作する。	基礎縫い (エプロン製作)	○	○	○	
	衣生活を作る	2人はなぜ衣服を着るのか ①人と衣服のかかわり ②地球的規模での衣生活	1	・自然環境の中で衣服の機能を理解し、社会生活上の衣服の機能を学ぶ	DVD 「被服材料の性質」	○	○		○
		3衣服は何からできているのか ①衣服素材の種類 ②繊維の種類と特徴 ③衣服素材の性能	1	・現代の国際化する衣生活の現状を知る ・日常着ている衣服の素材にはどのようなものがあるかを学ぶ。		○	○		○
		4健康的で快適な衣生活を作る ①衣生活をつくる ②衣服の手入れ ③衣生活と資源・環境	2	・布を構成する糸、繊維がわかり、繊維の種類と特徴が理解できる。 ・衣服素材の性能を理解する。 ・入手から処分までの衣生活の流れがわかり、豊かな衣生活とは何かを考えるきっかけを学ぶ。 ・豊富に出回る既制服の中から適切な選択・購入ができるように、入手のポイント、表示の種類・意味を理解する。	学習プリント	○	○		○
	5 12					○	○	○	○

一 学 期	6	食生活を作る 14	1 私たちの食生活を見つめる ①高校生の食生活 ②21世紀の食事	1	・高校生の食生活の現状を理解する。 ・望ましくない食生活によって起きる病気などについて知る。	学習プリント 食品成分表	○	○	○	○
			2 栄養と食品のかかわり ①食品の栄養素とからだの成分 ②炭水化物とその食品 ③脂質とその食品 ④たんぱく質とその食品 ⑤無機質とその食品 ⑥ビタミンとその食品 ⑦その他の食品	8	・食品の栄養と体の成分との関わりに関心を持つ。 ・炭水化物の種類と役割を理解し、多く含む食品について知る。 ・脂質、たんぱく質の種類と役割について理解し、多く含む食品について知る。 ・無機質の種類と役割について理解し、多く含む食品について知る。 ・ビタミンの種類と役割を理解し、多く含む食品について知る。	プリント(まとめ)	○	○	○	○
			3 食品の選び方と安全 ①食品の表示と保存 ②食品の衛生と安全	1	・食品の表示について理解し、適切に食品を選択することができる。 ・食品を安全に選択・調理するために、食中毒や食品添加物への理解を深める。	VTR 「テーブルマナー」 調理実習(5回)	○	○	○	○
			4 食生活をデザインする ①食事摂取基準と食品摂取量のめやす ②家族の食事を計画してみよう ③調理から後かたづけまで	2	・食事摂取基準の目的と内容を理解する。 ・食品群別摂取量のめやすの内容と食事摂取基準との関係を理解する。 ・調理器具の扱い方、切り方を学び、調理の流れと手順を知り、調理実習につなげる。	VTR 「栄養素について」	○	○	○	○
			5 これからの食生活を考える ①一人ひとりが支える日本の食生活 ②台所から考える環境 ・ホームプロジェクトの計画及び実践	1	・日本の食糧事情の実態と問題点を理解し、食料自給について考える。 ・食生活を通して、環境と共存するライフスタイルを身につける。	ホームプロジェクト	○	○	○	○
子 ど も と か か	9	子どもとかか 1 2 3	1 子どもを知る ①未熟なだけではない子ども ②子どもとかがわる	2	・幼児期の生活習慣について理解する。 ・子どもの生活における遊びの重要性を理解する。	VTR 「乳幼児の保育」	○	○	○	○
			2 発達のすばらしさ ①人の発達と保育 ②からだの発達 ③心の発達	2	・乳幼児期の人間形成の大切さについて、親の与える影響を理解することができるとともに、将来子どもを育てようという意欲を育てる。	DVD 「子どもの成長」	○	○	○	○
			3 子どもの生活	2	・子育て支援として行われているさ		○	○	○	○

二  
学  
期

10	わ る 10	①子どもの生活をつくる ②遊び		まざまな施策について知る。 ・子どもが健やかに育つ環境とその重要性が分かる。						○	○	○
		4親になることを考えよう ①子どもの人間形成と親の役割 ②子どもを持つという選択 ③たくさんの目で子育てを	2									
		5すこやかに育つ環境 ①出産と子育てのための社会的支援 ②子どもの権利と福祉 ③これからの子育て	1									
	11											
	消費 行 動 を 考 え る	1 主体的な消費行動 ①毎日が消費行動 ③契約社会と消費者	1	・契約社会における取引のルールを理解し、適切な消費行動がとれるようにする。						○	○	○
		2 消費者の権利と責任 ①消費者の権利を守る ②これからの消費者	3	・消費者の権利と責任について理解する。						○		○
		3 資源・環境を考える ①私たちの生活と資源・環境	2	・私たちの便利で快適な生活が、地球環境に大きな付加をかけることで成り立っていることを理解する。	学習ノート VTR (悪徳商法) VTR	○				○		○
	8	②これからのライフスタイル	2	・自分にできることを実践する。	(カード社会をどう生きるか)	○	○	○	○	○	○	○
	住 生	1 住まいについて考える ①住まいの機能 ②住まいを計画する	2	・住居と生活の関わりに関心を持ち、科学的な知識や先人の知恵から、住まいの工夫ができる。	バリアフリーの観点から考えさせる	○	○	○	○	○	○	○
	活 の 管 理 と 健 康	2 健康的な住まい ①住まいの室内環境 ②住まいの維持管理	2	・通風・喚起室内環境について学ぶ。	る。	○	○			○		○
	6	3 安全な住まい ①災害と住まい ②安全住む	2	・住居と環境、資源、エネルギーの関係を考える。	VTR 「バリアフリー入門」	○	○	○	○	○	○	○
		4 住まいと地域 ①環境に配慮した住まい ②住宅問題と住宅政策	2	・住空間や住様式について学び平面図を設計する。 ・身近に起きている住宅問題について調べさせる	調べ学習	○	○			○		○
	高 齢 者 と	1 高齢社会に生きる私たちの暮らし ①新しい高齢者像 ②高齢社会の現状	2	・沖縄の住居について学ぶ	沖縄の住宅の変遷	○	○			○		○
				・高齢者について私たちが持っているイメージや新しい高齢者の姿を確認する。	地域の高齢者の話を聞くなど。							

		か か わ る  6	2歳を重ねるということ ①高齢者の心身の変化 ②高齢者の暮らし	2	・高齢者の心身の変化や特徴について理解を深める。 ・高齢者の家族とのかかわりや、社会参加について現状を通して自立的に生活すること等、高齢者の暮らしにかかわる継続的な課題について考える。	インスタン トシニ体験 日常生活 の介助 学習ノート (まとめ)	○	○				
三 学 期	1  2  6	自 分 ら し い 生 き 方 と 家 族	3豊かな高齢期を迎えるしくみ ①地域に根ざした福祉システム ②介護予防も自立支援も	2	・介護予防など、改正された介護サービスの内容やねらいについて理解する。		○					○
			1自分を見つめる ①自分の適正について考える ②ライフステージと発達課題 ③これからの社会を生きる	1	・さまざまな視点より、自分を見つめ、自分の適正=長所に気づく。 ・ライフステージと発達課題を確認する。 ・将来と現在のつながりを認識し、現在の自分の目標を明確にする。	人生設計	○	○			○	
			2パートナーと出会う ①変わる結婚 ②パートナーとの出会い	1	・結婚の形態は、時代や社会とともに多様に変化してきたことを知る。 ・パートナーとのよりよい関係作りを考える。	VTR	○	○			○	
			3家族って何だろう ①家族・家庭とは ②時代とともに変わる家族・家庭 ③こんにちの家族が抱える問題	1	・家族とは、自分にとってどのようなものか客観的に考える。 ・多様な暮らしがあり、家族があることを考える。	VTR (家族)	○	○			○	
			4家族と法律 ①家族法の理念とは ②現代の家族と法律 ③民法改正への動き	2	・時代によって家族・家庭に関する法律が変化してきたことを理解する。 ・民法改正への動きを知り、これからの家族・家庭、男女のあり方について考える ・今後の社会において、男女ともに仕事も家庭も担っていくため、どうすればよいのか考える。	プリント (まとめ)	○	○			○	
			1生活設計 ①これからの人生 ②生活設計の内容と方法	1	・青年期の課題の確認と自己の生活の振り返り	新聞づくり 発表	○	○			○	
			3生活設計 4	2	・生活設計の立案	プリント (まとめ)	○	○	○	○		